

VI. 大学祭プロジェクト活動報告

大学祭プロジェクトリーダー 森野昭二

1. はじめに

今年度の大学祭は、「発表会」という名称で、2021年（令和3年）11月17日（水）・18日（木）の2日間、米原文化産業交流会館イベントホールで開催された。新型コロナの感染拡大防止のため、規模の縮小や来場者の制限など、制約の多い中であつたが、42期・43期の学生の努力やサポートの会、同窓会の皆さんの応援を得て、充実した後味の良い大学祭になったと感じている。

2. 大学祭の開催に向けて

(1) 活動の基本方針

大学祭の主体となる42期の学生は、2学科（園芸学科、健康づくり学科）であり、43期は10月に入学してまだ1か月半しかたっていない時期での開催となった。そのため、サポートの会としてのテーマを「大学祭に参加して、みんなで楽しく交流しよう」という包括的な文言とし、学生からの依頼や要望にできる限り応えていくことで大学祭を盛り上げていくという方針を立てた。

(2) おもな活動の経過と内容

- ① 3月19日 大学祭に向けての打ち合わせ
学生、サポートの会、事務局との第1回打ち合わせ
展示内容、今後の予定、大学祭を学習成果の発表の場とし、
名称を「2021発表会」とすることを確認
- ② 5月20日 42期学生第1回大学祭調整会議に出席
2021年大学祭の基本構想案の検討
- ③ 6月 8日 第1回大学祭プロジェクト会議の開催
大学祭プロジェクト活動計画の提案
- ④ 6月17日 42期学生第1回拡大文化委員会に出席
2021年大学祭実施計画案の実施説明
- ⑤ 6月18日 展示作品、パネル、余興出演の集約 第1次集約（～7/5）
- ⑥ 7月10日 展示作品、パネル、余興出演の集約 第2次集約（～8/6）
以後最終集約（10月21日）まで随時集約
- ⑦ 8月12日 42期学生第3回文化委員会に出席
取り組み状況の交流、進捗状況の把握
- ⑧ 8月17日 第2回大学祭プロジェクト会議の開催（中止）
コロナ感染拡大防止のため中止
- ⑨ 9月16日 42期学生第5回文化委員会に出席
取り組み状況の交流、進捗状況の把握
- ⑩ 9月30日 展示作品、パネル、余興出演の集約の確定

- 集約結果を役員会、調整会で報告
- ⑪ 10月12日 第3回大学祭PJ会議の開催
大学祭に向けた現状報告および今後の日程等
 - ⑫ 10月21日 42期学生文化委員会に出席
取り組み状況の交流、進捗状況の把握等
 - ⑬ 10月21日 展示作品、パネル、余興の最終集約および決定
最終集約を行い、調整会議で報告
展示配置の決定
 - ⑭ 11月11日 42期学生文化委員会に出席
学生との最終打ち合わせ
 - ⑮ 11月17日 2021発表会（大学祭）1日目
発表会に参加し、会場設営、展示準備を手伝う
 - ⑯ 11月18日 2021発表会（大学祭）2日目
発表会に参加し、展示鑑賞、後始末を手伝う

3. おわりに（2021発表会を終えて）

今回の大学祭は、活動の基本方針でも述べたように、サポートの会として学生側からの要望や期待に可能な限り応え、「学習の発表の場」としてふさわしい大学祭にしていくため、どのように活動を進めていくのかが大きな課題であった。

そのため、大学祭プロジェクトの具体的な活動目標を、展示スペースに見合ったパネル展示・作品展示数の確保と内容の充実、余興に出演する団体等の確保とし、サポートの会としての活動目標や進捗状況、大学祭に臨む学生の思いなどをその都度役員会や調整会議、大学祭プロジェクト会議などで提案した。

その結果、サポートの会の全面的な支援や同窓会の協力が得られ、パネル展示52面（うち今回新たに作成されたパネルは18面）、作品展示は長机22脚の上や床に作品がずらりと並び、充実した展示空間となった。また、今回のパネル展示は、前回、前々回の大学祭等で展示された作品の再展示もお願いした。その結果、質の高い内容のパネルが多く展示されることとなった。作品展示については、41期園芸科から多くの作品を提供してもらうことができた。

さらに、大学祭の雰囲気を盛り上げる余興には、4団体から出演の申し出があり、2日目の午後の1時間30分をサポートの会の余興で楽しんでもらうことができた。その他、各期、各学科の積極的な姿勢と支援の内容には枚挙にいとまがないほどである。報告の場を借りて感謝申し上げたい。

今回もコロナ禍での開催であったが、大学祭の全体テーマであった「ともに学ばん ともに遊ばん ともに生きなん」に大いに近づけた「発表会」であったのではないかな。

以上